

第6学年 単元名「伝えよう平和を」

学 習 活 動	学 習 の 様 子
<p>1 戦争へ突き進んでいった時代について調べよう。</p> <p>(1) 沖縄慰霊の日について学習する</p> <p>(2) 夏休みの課題として、8・6、8・9、8・15について各自調べる。</p> <p>2 国語科「平和のとりでを築く」を学習し、広島原爆ドームについて調べよう。</p> <p>3 修学旅行で長崎原爆資料館を見学し、被爆体験を聞こう。</p> <p>(1) 長崎原爆資料館見学</p> <p>(2) 被爆体験を聞く</p> <p>(3) 長崎市内見学 平和公園・落下中心地・片足鳥居など</p> <p>4 ポスターセッション発表会を開き、保護者や他のクラスの友達に発表しよう。</p> <p>5 全校児童に平和の大切さを伝えよう。</p> <p>(1) 学年別に内容・発表方法を話し合う</p> <p>(2) 発表資料・発表原稿作成</p> <p>(3) リハーサル</p> <p>(4) 全校児童に発信</p>	<p>○ 社会科学習で長崎に原爆が落とされたことについて学習し、全校児童に平和を願って折鶴を折ってもらう。 (平和集会係中心)</p>  <p>○ 資料館を見学し、被爆体験の話聞く</p> <p>○ 原爆落下中心地でミニ平和集会を行い折鶴をささげ、平和を祈る。平和公園を見学する。</p> <p>○ バスの中から、片足鳥居や、永井博士の如己堂などを見学する。</p> <p>○ 長崎で学んだ事の中から、テーマを絞り、1年生から5年生までの伝える相手を決定し、グループを作る。</p> <p>○ テーマにそって、必要な資料を集める。</p> <p> テーマの例</p> <p> 「戦争のおそろしさ」</p> <p> 「戦争中の人々の暮らし」</p> <p> 「原子爆弾の被害」</p> <p> 「長崎と広島の原子爆弾の違い」</p> <p> 「現在、世界の国々が保有している核兵器について」</p> <p> など</p> <p>○ 朝自習の時間を使い1年から5年まで、24クラスに分かれて発表した。</p> <p>○ 八幡製鉄所とつながり、小倉で風船爆弾などを製造していた事実を知る。</p> <p>○ 広島・小倉・長崎が原爆投下予定地であったことを改めて確認し、平和への思いをより深め、平和な世の中を作っていこうとする心情を育てる。</p>
<p>6 小倉にあった兵器工場や長崎の鐘について学習する。</p> 	